

第4回第3次かほく市総合計画審議会

議 事 概 要

日 時：令和7年12月3日（水）13:57～15:07

場 所：かほく市役所2階 議会会議室

1. 開会
2. 審議案件について
 - ①第3次かほく市総合計画「序論（案）」について
 - ②第3次かほく市総合計画「基本構想（案）」について
 - ③第3次かほく市総合計画「基本計画（概要）」について
 - ④今後のスケジュールについて
3. 事務連絡
4. 閉会

委 員 名 簿

整理 番号	選出組織・団体	職	氏名	出欠
1	かほく市商工会	会長	南 春夫	出
2	石川かほく農業協同組合	代表理事専務	村井 一宏	出
3	石川県立看護大学	教授兼附属図書館長 DX推進委員会委員長	小林 宏光	出
4	金沢学院大学附属高等学校	副校長	谷内 正樹	出
5	かほく市町会区長会連合会	会長	西田 省三	欠
6	かほく市女性協議会	会長	松村 千恵	出
7	株式会社 北國銀行	公務部部長	山田 泰輔	出
8	金沢公共職業安定所	所長	今町 聡	出
9	株式会社 P F U	取締役常務執行役員	宮内 康範	欠
10	かほく市社会福祉協議会	常務理事	越井 謙一	出
11	かほく市	副市長	竹本 重久	出

議 事 概 要

○各委員、●かほく市事務局

1. 開会

2. 審議案件について

①第3次かほく市総合計画「序論（案）」について

- ・事務局より、第3次かほく市総合計画「序論（案）」について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委 員)

- ・前回会議で案をお示しいただき、それに対してこの会議の場でいろいろコメントを加えた。説明いただいたところでは、個々のコメントに対応していただいているという風に全般的に感じた。

②第3次かほく市総合計画「基本構想（案）」について

- ・事務局より、第3次かほく市総合計画「基本構想（案）」について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委 員)

- ・施策の体系として、縦に9個のテーマの重点戦略があり、それを串刺しにするような形で3つの横断的戦略が貫いている。こういうマトリックスになっているということかと思うが、この部分は前回も説明があったのでは。

(事務局)

- ・前回会議では、基本理念、基本目標が入っていない状態で一度お示しさせていただいた。

(委 員)

- ・基本構想の大きなポイントとしては将来都市構造における市内のゾーニングのこと。特に工業振興ゾーンを新たに加えるといったところが一つ目玉というような理解でよろしいか。

(事務局)

- ・はい。

(会 長)

- ・序論と違って具体的な施策が出てくるため、また、基本構想に関してはこれからのことになるためぜひご意見ご質問をいただきたい。

(委 員)

- ・序論にあった「まちづくりの課題」のところ、これまでの話として若い世代がかほく市を選んでいくといったところ、続けて地域の特色を活かしたまちづくりを一層進めていくというような形で課題として整理されている。これらを踏まえて今後先の10年の基本理念を作

成されている。

- ・ここで「人」というものにフォーカスしていて、サブタイトルにもあるように「住み続けたい」を入れるのはおそらく人口減少時代の中でこれまでのように移住を促進したり、出産・子育てを支援するだけというわけにはいかないという意味として捉えた。
- ・基本理念の説明の文章の中では、「安全・安心なまちづくりを進める」とか、「住み良いまちにしていく」のような人に住み続けてもらうような仕掛けが示されており、かほく市の施策の取り組みがかほく市に住み続ける人を増やすといったようなエコシステム、循環イメージがあるとの印象を受けた。
- ・これまでは、出産してもらえるように若者を誘致することが中心だったが、これからは育てるところにフォーカスしていくことによって、いろんな施策が広がっていく。学年ごとに 350 人以上の子どもがいる中で、「教育」を強みにして基本理念を実現していくような、そんなイメージがあってもいいんじゃないかと思った。
- ・重点戦略のひとつとして「子どもも大人も共に学び育つまちづくり」が挙げられているので、「教育」を特徴的な部分として押し出して、人口減少時代におけるかほく市の成長をイメージしてはどうか。

(事務局)

- ・委員が言われた施策の循環のイメージは、子ども・子育て支援事業計画の中で施策の推進イメージ図があるので、何らかの形で同じものではないが、イメージできるものを次期総合計画に付け加えることができないか検討したい。

(委 員)

- ・将来都市構造に関して、これから大規模な道路工事をするような部分は入っているのか、それとも既存のインフラを前提としているのか。

(事務局)

- ・かほく市の中央部でかほく東西幹線道路の建設が進められており、現在宇ノ気川以東から河北縦断道路までの工事に着手しており、今後は国道 159 号以西への延伸を計画している。このあたりが、将来的な道路整備の肝となると考えられる。

(委 員)

- ・計画中に完成する見込みか。

(事務局)

- ・県主体の事業なのでスケジュール感は言えないが、のと里山海道に取りつく部分は難しいところがあり、何十年かかるか難しいが、そういったスパンで今後計画していくということは聞いている。

(委 員)

- ・将来都市構造図に関して、非常に夢のある希望的な図面だと思うが、対外的には公表しているのか。

(事務局)

- ・今日の時点では公表していない。パブリックコメントを 1～2 月にかけて実施する予定とし

ているので、その際に市民の皆様にご公表させていただくこととなる。

(委 員)

- ・雇用の分野で一番大きな問題が「企業の人手不足」になっており、介護の分野をはじめ、今ではどの分野でも人手不足であり、事業者からも深刻な問題として聞いている。
- ・この人手不足について、国県が中心として対応しているが、かほく市内の企業のための人材確保対策といったものを考えてみてはいかがか。例えば、かほく市の企業を知ってもらうということから何かアピールできればいいと思う。

(事務局)

- ・総合戦略は、総合計画を実際に動かすアクションプランみたいなものですが、昨年度策定した現行の総合戦略には人材確保の促進を図るというコメントが入っている。総合戦略の上位計画にあたる総合計画にどういう盛り込み方ができるかについては検討したい。

(委 員)

- ・ある自治体では地元企業へ学生にきてもらうため、奨学金の返済支援等を行っているところもある。

(委 員)

- ・通勤途中で大きな工場があるな、と毎日前を通っていても実際にここが何を作っているのか知らなかったりするので、地元にある企業がどういう仕事をしているかを広報していくことも地元からの人材確保に繋がると思う。

(委 員)

- ・総合計画は最上位計画だと思うが、10年の期間の間に変更はかけれるものか。世の中が変わったらどう対応するのか。

(事務局)

- ・10年のスパンはどうなのかということは課題として認識している。総合戦略の修正でカバーしている面はあるが、現行の総合戦略もあと3年で計画期間が終わるので、その際には、今後どうするかということも検討していかなくはないと考えている。

(委 員)

- ・かほく市民の方は市内・市外どちらで多く働いているか。

(事務局)

- ・令和2年国勢調査では、市内の人口のうちおよそ2万人が就業しており、市内で働いている方が9,800人、市外で働いている方が10,300人と、およそ半々の結果となっている。

(委 員)

- ・これは感覚として、多いのか少ないのか。

(事務局)

- ・半々というのは、感覚としてはまあまあ多いのではないかと思います。

(委 員)

- ・金沢市に隣接しているにも関わらず市内で半分従業しているということは、決して悪い方で

はないという解釈でよろしいか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(委 員)

- ・南部交流ゾーンの方に、西田幾多郎哲学館やうみっこらんどがある。そちらの方が衰退しているような感じがするので、イベントなどで西田幾多郎記念哲学館やうみっこらんどをもっと活用していけばいいと思う。

(委 員)

- ・付随して、北部交流ゾーンの方も道の駅を使ったイベントも中にはあるが、人が集まるレストハウスやお店があるので、海を使ったイベントがあればいいと思う。

(事務局)

- ・行政施設はたくさんあり、それを活用するためにこれからさらに検討していく必要があると思っている。市役所で一つになってこれからの北部・南部をどう活用していくか、どう活性化していくかということは、これから大きな課題となっていく。西田幾多郎記念哲学館に関してもニッチな建物で来る人も限られているようなイメージもある中で、施設の活用方法や活性化の手法等を見出していくことが必要であると考えている。

(委 員)

- ・重点戦略の項目「市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」のところで、能登半島地震の教訓を生かした危機管理体制の強化や、防災施設・設備の整備というところもあるが、福祉避難所の整備も項目の中に入っているのか。また、備蓄品の充実や仮設トイレなどについても教えていただきたい。

(事務局)

- ・総合計画から外れるが、今年度、地域防災計画の全面改訂を予定している。その中で、今回の地震で出てきた課題について検証委員会を設けて反映する枠組みとなっている。仮設トイレの数は国の基準が改定されており、その基準に合わせてどういう避難所にしていくか検討していく。福祉避難所は今まで県がコーディネートしているが、市として今後どういう風にしていくかを地域防災計画の中で検討していく。

(委 員)

- ・うみっこらんどの件が計画内で触れられていないと思うが、うみっこらんどの現状と今後どうしたらいいか、これまでどうだったかの検証をする予定はあるのか。

(事務局)

- ・総合計画においては、うみっこらんど個別の事案に対する記載は行う予定はないが、総合戦略の中でかほく市特有の資源として生かしましょうという計画になっている。北部交流ゾーンについてもレストハウスという旗艦的なものがあり、その土地柄、交通性も便利なので、情報発信に努めるなど将来的な活性化に向け種を蒔いている状況である。

(委 員)

- ・ 全般的な話で、総合計画は最上位の計画である。議論を進めていくと、個別具体的な話になりがちであるが、個別的なものは総合戦略や防災計画の中で具体的に落とし込んでいく。10年という長いスパンなので、ある程度市の施策が網羅されている形で策定するのが最上位計画の位置づけであると思っている。
- ・ 先ほど示した将来都市構造図であるが、ここは北部中央南部があり、ここはどちらかというと、問題意識を持って取り組んでいきます、という表現でありこの成果は、本当に完成形ではないとはっきりとは見えないようなものがたくさんあって、南部についても、いろいろなお話があるけれども、イベントはするが恒常的に賑わっていないとそこが上手くいったという話にもならないので、そういうものをどういう形で誘致するか、自分で作るか、あとはお金の問題もあるので、そういう意味では、こういうところに何らかの形で注力していくという計画上の現れと思っていただきたい。具体的な部分については中々ここではできないが、具体的なものを想定してこの計画があるということかと思っている。

(委 員)

- ・ 人口動態の集計でもありがたいことに転入者がどんどん来ている。市内を通っていると新築の家を見かけるが、山間地に住宅がぽつぽつとあるのではなく、市街地を集約していくことがどこの自治体にとっても課題かと考えるが、転入があるときに、既成市街地ゾーンで家を建ててください、というような市としてビジョンがあるのか。

(事務局)

- ・ 総合計画においては、そのような誘導は行わないが、現在別に策定中の立地適正化計画の中において、市街地のコンパクト化に向けた住宅地や都市機能の誘導を計画していく。

(委 員)

- ・ 今まで田んぼだったところを埋め立てて造成して建売住宅を10個くらい作っているような場所を見かけるが、既成市街地ゾーンだと大きな造成というか、空き地はないのでは。基本的にはかなり住宅が密集している地域だと思うが。
私のイメージだと、こどもがいる若い家庭、学校のことも考えるが、広々したところに家を建てたい人もいると思う。居住地域が集約せず広がってしまうというようなことは、市役所的には望ましくないことなのか。

(事務局)

- ・ 全体的な国の施策の流れとして、なるべく集約していく方針となっている。一番まずいのは薄く広がっていくことであり、そうならないように自治体として検証をしていく、というのが大きな流れである。

(委 員)

- ・ 行政が民間の土地開発に口出しできないところもあるのか。

(事務局)

- ・ 都市計画や用途地域で民間の土地開発に制限をかけていくことはできる。行政がトータルのにある程度のまちづくりをコントロールしていくことが国の方針となっている。

(委 員)

- ・長期的なことを一ついうと、かほく市に人が薄く広く広がるのではなくて、賑わいがある中心部と周辺部のメリハリがあって商業地域にそれなりの人口があって、商店なども成り立つようなメリハリのあるまちづくりを目指していくイメージか。

(事務局)

- ・はい。

(委 員)

- ・あえて言うが、3つある交流ゾーンを1個にしてはどうか、という見方もできると思うが。小さいのが3つあるよりかは、1つ大きな栄えたものがある、というのもあるかと思うが。

(事務局)

- ・これまでの計画との継続性や、合併以降、旧3町のバランスをとった施策の取り組みを行ってきた側面などもあるので、いきなり1つに集約するということは難しい。

(委 員)

- ・国道159号線の開発・整備が整えば、人・車の流れがずいぶんと宇ノ気、七塚、高松に動くんじゃないかと思う。今七塚を中心に国道の脇に広い歩道ができているし、道路によって人の流れ、そこに小さい店も出てくるし、既存の店の賑わいが南北中つながっていくのではと思うので、道路整備がまずなにより重要だと思う。

③第3次かほく市総合計画「基本計画（概要）」について

- ・事務局より、第3次かほく市総合計画「基本計画（概要）」について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

- ・意見なし

④今後のスケジュールについて

- ・事務局より、今後のスケジュールについてについて、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

- ・意見なし

3. 事務連絡

4. 閉会

以上